

海を照らす灯台のなかまたち (7)

～伊予三崎港三崎第一防波堤灯台～

(いよみさきこうみさきだいいちぼうはていとうだい)

佐田岬半島と九州佐賀関港を結ぶ九・四国
道フェリーが就航している。

三崎港、この港までは国道 197 号線が通っ
ていて道路は整備されている。



港は伊方町観光交流拠点施設「佐田岬はなはな」が 5 月 30 日リ
ニューアルオープンしたばかり、四国の西の玄関口として、食、お
土産、物産、など盛りだくさんで、半島一番の賑わいのある場所
です。

かつては、「イクナ酷道」とも言われ、宇和海側の海岸の村々を
曲がりくねった国道の時代もありました。

三崎港の防波堤に立つ灯台が今回紹介する灯台です。

灯台の分類の一つとして、設置場所があり沿岸灯台、防波堤灯台
がありますが、今回の灯台は言うまでもなく防波堤灯台で、港湾や
漁港の防波堤の先端に設置されているもので、港に入るとき「右側
にあるのが、塗色が赤で灯色も赤」、「左側にあるのが、塗色が白で

灯色は緑」と海上保安庁が規定しているそうです。

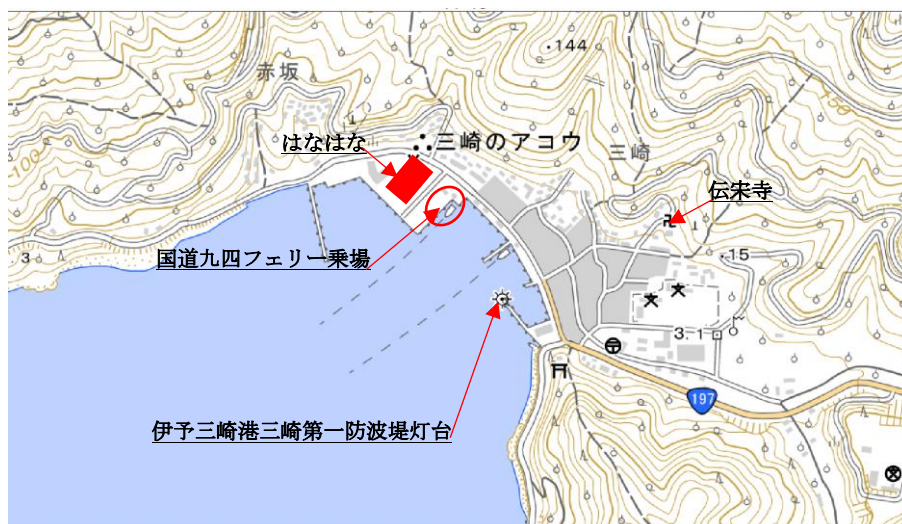
面白い発見で「橋紀行」の時橋の欄干の親柱に記されている橋の名前の入り口が「漢字」で、出口が「ひらがな」なのを思い出してしまいました。

テレビで時々防波堤灯台が映ることがありますが、これは「赤だから右」、「白だから左」が港の入り口なのだと気を付けて見るようになりました。

三崎には国指定の天然記念物「あこう樹」、町指定文化財「伝宋寺」の境内には、幹廻り 8.7m、樹高 14.7mの「大クス」など見所もたくさんあります。

新装した「はなはな」へも遊びに来てくださいと呼びかけています。

三崎港周辺図



○伊予三崎港三崎第一防波堤灯台要項

所在地 愛媛県西宇和郡伊方町三崎港

塗色・構造 赤色、塔形

灯 質 連成不動単閃赤光 毎4秒に1閃光

光達距離 閃光 3.5 海里 (約 6.5 km)、不動光 1 海里 (約 1 km)

高 さ 地上から構造物の頂部まで 8.3m

平均水面上から灯火まで 15.0m

地上から灯火まで 8.2m

点灯年月日 昭和 40 年 1 月 16 日

★「大八車」No.221 (令和2年6月10日発行) 掲載分

○伊予三崎港三崎第一防波堤灯台周辺画像ほか

国道九四フェリー乗場



国道九四フェリー



三崎のアコウ



